

船橋非常通信連絡会ニュース

☆ オンエア・ミーティング 432.76 MHz 混信なら down QSY

毎土曜 22:00～ 毎日曜 10:00～ 毎第2 第4 日曜 144.76 MHz

☆ ロールコール 432.76 MHz 毎月第1 日曜 10:00～

JJ1YNA HP <http://www.jarl.com/jjlyna/>

第68号

2014 December

FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net

2014年度アマチュア無線クラブ「移動運用訓練」報告

日時：平成26年10月18日（土） 9時～16時 県立行田公園にて

開催日前には大型の2つの台風が立て続けに日本を襲い、強風で自宅にアンテナ／タワーを設置している多くのアマチュア無線家を心配させる日々が続いていました。

しかしながら、運用当日は雲一つない秋晴れで、しかも風も殆どなく昨年の三番瀬海浜公園実施時とは全く反対で、これ以上は望めない最良のコンディションでの開催となりました。

県立行田公園は昔、海軍船橋無線電信送信所があった跡地を利用した公園であり、昔の巨大なアンテナのメンテナンス用道路がそのまま残って外周道路となっている珍しさから、度々新聞等メディアにも掲載されている公園です。

今回の移動運用訓練では、従来の訓練に比べると以下のような公開、検証を実施することができました。

（1）JJ1YNA 幟旗を掲示して市民へPRを実施

当日は天候にも恵まれたことから公園には多くの市民がきており、今回新たに製作・持参した幟旗を2旗たてましたが、これを見て「何をやっているの？」と質問を受けることが何回もあり、少なからずクラブ及び非常通信連絡会の活動をアピールすることが出来ました。

幟旗によるPR効果は相当なものであることを知見とすることができました。

（2）身近な導体を利用したドライブアンテナによる実通信成功（JJ1GRK 高木さん）



アマチュア無線専用のアンテナではなく、その場所にある施設、構築物の導体部をアンテナとして利用する方法として、今回はバーベキューガーデンベンチ上の屋根を間接的にドライブ（アンテナとし、海外2局を含む8局と実際に交信することに成功しました。

万が一の時には何か近くに導体さえあれば、それをアンテナとして利用することをリアルに体験すること

ができました。

（3）大型アンテナ設置訓練（JA1XQC 岩橋さん）

移動運用では運搬性や場所を考慮するとあまり大型のアンテナを設置するのは現実的ではありませんが、大型アンテナはより遠方の局と交信が可能となることから、今回は公園という場所の性格を鑑みあえてチャレンジしました。



大型アンテナをメインのポールに組み上げるとポールとアンテナ両方での重量が相当になり高所へ抑揚には多くの人員、または機械が必要となるのが一般的ですが、今回は 3 重滑車を利用して、あくまで人力で高揚できることを皆で経験することができました。

(4) カセットボンベ式発電機の可用性の確認 (JA2SWH/1 佐竹さん、JA7THE/1 遠藤さん)

今回はガソリン式の発電機を一切使わず、HONDA のカセットガスボンベ式の発電機エネポのみでの運用を行いました。この発電機 1 台では定格 900W (負荷実験では 1,100W まで OK とのレポートがある) ですが、今回は 2 台を並列接続コードで接続して位相同期をとり合計 1,800W 出力で運用しました。



2 台運転では、無線機と電気ポットなどの高消費電力機器も同時に、しかも無瞬断で運用することの確認ができ、さらにガソリン高騰の中ではその経済性についても確認することができました。

アマチュア無線での運用訓練を実施する傍ら、運用場所のすぐ隣の公園バーベキュー施設では、料理長である JL1CML 木村さんらにより公園管理事務所より有料借用した炭火コンロ 2 組を使用して焼肉、焼きソバなどを調理、会食しながらクラブ員相互の懇親を深めることもできました。

今回、旧海軍の無線送信所があった場所での開催であり、電波の飛びが悪いはずがないという無線家の熱い血筋が騒いだのか、28 名もの参加をいただきました。

皆様から頂戴した会費の残金および有志の方からいただきました寄付金につきましては、活動資金としてクラブの会計に組み込ませていただきます。

参加各局：

7K3XGV, JA1NGW, JA10EV, JA1VFL, JA1TRM, JA1WHD, JA1XQC, JG1DVY, JF1XPH, JG1KLK, JG1LHB, JH1EKM, JH1FEQ, JH1RFU, JJ1GRK, ex JJ1QWG, JL1CML, JM1MUA, JO1GLR, JS1GXN, JS1IWA, JA2SWH, JA6AZE, JA7THE, JA8ALT, JA0EDI, 塩見さん、保利さん

交信局数：総計 30 局 (海外：5 局、国内：25 局)



最後に、県立行田公園の使用許可を快諾して下さいました千葉県葛南土木事務所および公園管理事務所の関係者の皆様に変なお世話を頂きました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

移動運用担当 JA7THE/1 遠藤

<プロの世界の無線従事者事情>

技術指導担当 JJ1GRK 高木

11月23日 16時より 飯山満公民館にて、「プロの世界の無線従事者事情」と題した、講習会が開かれました。出席はJA1AIU, JF1XPH, JG1KLL, JH1EKM, JS1IWA, JS1GXN, JA2SWH, JA7THE。
みなさんお疲れさまでした。

以下、配布資料の抜粋です。



1、 技術操作 通信操作

通信をするのが通信操作、通信の為の
セッティングをするのが技術操作

2、 何故、アマチュアは無線従事者免許が要らないか

技術操作をしていないのは明白、実際に通信を行うための無線設備の操作をしていないので、
通信操作にあたらない。※アマチュア局以外は、他人の通信の為に無線局を使用しても良い。

3、 技術士、通信士、(特殊無線)技士、アマチュア無線技士

技術士：技術操作のための技士。4アマ以外の通信操作はできない???

通信士：通信操作のための技士。限られた範囲の技術操作ができる。

しかし実際は通信操作のほとんどが特技で可能。(モールスだけ不可)

特殊無線技士：以前は、特殊無線技士(国内無線電信)という表記

操作範囲を限定した無線技士という扱いだった。

今は〇〇特殊無線技士 という一般的な表記になっている

以前は技術操作、通信操作が複雑に入り組んでいた。

4、 陸上系の資格 1技、2技、第一級陸上特殊無線技士

1技があれば良い。2技は500W/2kW以下。

第一級陸上特殊無線技士は、デジタル系の伝送路を扱える特殊無線技士。

ただし、50W以下の衛星アクセスは2陸特でも可能。(V-SATを想定)

実は、放送局(コミュニティ含む)以外は基本的に特殊無線技士でカバーされている。

5、 陸上系の資格 そのほかの陸上特殊無線技士

旧、甲乙は統合。陸上のV,UHFの連絡無線、携帯基地局等はすべて3陸特になる。

(移動局は50Wまでしか認められない事に注意) レーダーは2陸特まで。

6、 航空系の資格

エアラインの乗員は通信士。それ以外は特殊無線技士。航空通信士（または同等）免許が無いと航空従事者資格としての航空通信士が取れない。現在は操縦士が学校認定で取得するのが普通。

7、 海上系の資格 1 総通、2 総通、3 総通、第 4 級海上無線通信士

モールスは今も必要な場合がある。

2 総通：は近海向け、もしくは漁船向けの資格 & 1 総通読み替え資格だった。

3 総通は近海漁船向け。漁業無線局では今もモールスを使っている処がある。

電話級(旧)は同、モールス無し。

このため、第四級総合通信士となれず、第四級海上通信士に移行した。

8、 海上系の資格 1 海通、2 海通、3 海通

実は操作範囲は全く同じ。何故なら、衛星はどこからアクセスしても同じだから。

3つの資格ランクはメンテナンス範囲のみの違い。このため、英語、法規は共通。

GMDSS 対応船向け資格。通常は1 海通と3 海通（兼務）がセット。

9、 海上系の資格 海上特殊無線技士

第一級は GMDSS 対応漁船。平水、沿岸海域の船舶。小型フェリーなどが該当。

船舶地球局の運用が可能。

★国際電気通信業務の通信のための通信操作を除く。という表現は、それ以外の国際通信は可能と言う事。具体的には、国際 VHF（これは国際通信となる）を指す。

10、 どれを目指すべきか・・・最後に狙う数学の学力が大事

微積分がどこまでできるかで、1 技 2 技の取得の可能性が大きく変わる

→微積分の例。速度、移動距離、絵エネルギー。2つの受信電界算出式。

対数、三角関数も必要

・・・英語も大事か？。通信用の英語は独特なので、口語+@。

11、 どれを目指すべきか・・・すぐに取りれる資格は役立たない

養成講習会がある資格は必要になってからでも取得できる事が多い。

12、 あると便利な資格 昔は3通。しかしこの免許では多重がNGなので、

今は1 陸特か2 陸特 （2 陸特だと地上同士のデジタル設備が扱えない。衛星はOK）

変わったところでは1 技で実務経験5年を積むと教員免状。

これは実務に付かない限り10年更新が発生しない。（再交付ができるから）

13、 船会社への就職は？

新卒求人は原則として学校へ行く。6か月の実習経験が無いと海技免状が取れないので
新卒求人以外は無いと思った方がよい

甲板部員は国際航海に従事する場合は第一級海上特殊無線技士以上、三総通NG
 国際航海をしない場合は第二級海上特殊無線技士が必要。平水は不要。
 通常は通信長が第一級総合無線通信士、もしくは第一級海上無線通信士、
 航海士の内一人が第二、もしくは第三級海上無線通信士

14、放送局は？

送信技術職であれば第一級陸上無線技術士、それ以外では第一級陸上特殊無線技士。
 他はほとんど意味を持たない。

分野	資格名	想定する操作範囲	通信術(抜粋)
陸上	第一級陸上無線技術士	基幹放送局、固定局、無線標識局	この項は左から 和文/欧文暗語/ 欧文普通語/ 印刷電信/送話
	第二級陸上無線技術士	一技の範囲で出力が小さい(2kWor500W)もの	
	第一級陸上特殊無線技士	VHF以上の500W以下の多重無線設備、中継局	
	第二級陸上特殊無線技士	陸上移動系の無線局、衛星アクセス	
	第三級陸上特殊無線技士	タクシー無線の基地局など	
	国内電信級陸上特殊無線技士	自衛隊など、国内電信	
海上	第一級総合無線通信士	国際航海に従事する船舶、海岸局	75/-/-/-/-
	第二級総合無線通信士	近海を航海する船舶、大きな漁船等、航空機	75/80/100/-/50
	第三級総合無線通信士	遠洋で操業する漁船、漁業用海岸局	75/80/100/-/50
	第四級海上無線通信士	電信を使用しない漁船、漁業海岸局	70/80/100/-/-
	第一級海上無線通信士	GMDSS対応船舶局、大規模海岸局	-/-/-/50/50
	第二級海上無線通信士	GMDSS対応船舶局、中規模海岸局	-/-/-/50/50
	第三級海上無線通信士	GMDSS対応船舶局、小規模海岸局	-/-/-/50/50
	第一級海上特殊無線技士	商船の国際VHF等、GMDSS対応漁船	-/-/-/-/50
	第二級海上特殊無線技士	漁船、沿岸船、VHF連絡無線	
	第三級海上特殊無線技士	沿岸漁船、プレジャーボートの無線電話	
	レーダー級海上特殊無線技士	レーダー	
	航空級無線通信士	航空運送事業の航空機、航空局	-/-/-/-/50
	航空特殊無線技士	航空運送事業以外の航空機、航空局	-/-/-/-/50
略称	工学難易度(推定)	付属する資格	英語
一陸	大卒	第二級陸上無線技術士	英語難易度は A:十分に B:適当に C:必要最小限
二陸	短大卒	第一級陸上特殊無線技士	
一陸特	高卒	第二級陸上特殊無線技士	
二陸特	1アマ、2アマ間	第三級陸上特殊無線技士	
三陸特	3アマ、4アマ間		
国内電信	無し		
一総	大卒-@	第二級陸上無線技術士、第二級総合無線通信士	A 地理は世界
二総	短大卒-@	第三級総合無線通信士、500W/250Wの技術操作	B 地理は概要
三総	高卒-@	第四級海上無線通信士、250W/125Wの技術操作	C 地理無し
四海通	2アマ、3アマ間	250W/125Wまでの技術操作、レーダー	無し
一海通	大卒-@	船上保守可能、海岸局は2kWまで	A 地理無し
二海通	短大卒-@	船上保守(ユニット交換、調整のみ)	A 地理無し
三海通	高卒-@	船上保守不可(外部の転換装置のみ)	A 地理無し
一海特	2アマ、3アマ間	船上保守不可、第二級海上特殊無線技士	C 地理無し
二海特	3アマ程度	船上保守不可、レーダー	無し
三海特	4アマ程度	船上保守不可、小型レーダー	
レーダー	4アマ程度	陸上のレーダーは不可	
航空	高卒	航空機内と、その他250W以下の技術操作、	C 地理無し
航空特	3アマ程度	外部の転換装置のみ	無し

★一総通と一海通~3海通は英語難易度が同じ

HONDA カセットボンベ式発電機の燃費

7月5日～6日にかけて開催された6m&Down コンテストに有志数局で参加しました。

移動場所は、君津市 かずさ4号公園展望台でしたが、今回は HONDA のカセットボンベ式発電機の燃費確認を兼ねての参加でした。

コンテスト時間は18時間でしたが準備運用を含めて発電機を可動させた時間のトータルは約19時間40分。(19.67時間)で、この間に完全に使い切ったボンベの本数は14本、途中まで使ったセットが2本ですが半分までは使っていないので、多めにみても使い切った本数は15本になります。計算すると1時間あたり $15/19.67=0.7625$ 本。安いカセットボンベ1本は税込みで108円ですから、1時間あたり83.1円の計算になりガソリン高騰の現状に鑑みてかなり経済的になります。(ガソリン0.5リットル程度)



ちなみに、今回のカセットは全て2本単位で使用しましたので、カセットを交換する間隔は、計算上では時間は $2/0.7625 \times 60 = 157.3$ 分、つまり2時間37分毎になります。実際交換した間隔を時計で計測しましたが、勿論運用時の負荷の大小によりますが短くて159分(2時間39分)、長いもので201分(3時間21分)でした。

今回全運転を省エネモード(MAX出力900Wの約1/4出力)で運転しましたが、50W出力の無線機を2台運用して問題はありませんでした。

もっともこの発電機は、省エネ(エコスロットル)モードで運転中、過負荷で容量不足となる場合は一時的に省エネモードを解除し回転数を上げて負荷に耐える仕様になっており、さらに負荷が軽くなると、再び自動的に省エネモードに戻るともスマートな仕様になっています。



参考までに、本来取扱説明上では、カセットボンベは写真の東邦金属工業の純正品ボンベを使えとありますが、近くに置いている店が無いので、今回は写真の3種類を使用しました。

今回使用の3種類のカセットボンベ



左からの2種類はいずれも税込み108円/本で、特に一番左側のファミリーカセットボンベはパッケージに東邦金属工業の名があり HONDA の発電機に使えることが明記してあります。(純正互換品)

一番右は岩谷製品で有名で、安売りでも他より

高く一本140円～160円で売られています。

製品はいずれもボタン容量250gで、同じ無線機の負荷の違いもあるでしょうが、一番優秀で長持ちしたのが真ん中の無印品という皮肉な結果になりました。

移動運用担当 JA7THE/1 遠藤和彦

第2の故郷・中米へのDXバケーション

JA2SWH 佐竹 康雄

25年ぶりに中米に行きたくなった。初めての海外旅行がグアテマラだった。2年間の現地滞在中の1989年にTG9ASAのコールサインでグアテマラからQRVしていた時に、毎朝7MHzでJAとのQSOを狙っていると隣国ホンジュラスからHR/JA6WFM中村さんも出ていた。メキシコにもう一人の日本人XE1IQZ堤本さんがQRVしていて時々7MHzでRound Table QSOに花が咲いた。このうちの一人、中村さんがエルサルバドルに滞在しているので任期を終えて帰国する前に訪ねてみようということもあり、初の海外経験の地、第2の故郷とも言える中米へのDXバケーション計画を進めることにした。

中米と言うとどこを想像されるだろう。エルサルバドルがイギリスの植民地から独立したのが1821年9月15日で、その時同時に独立した5か国(グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ)が中米連合として現地で中米と呼ばれている範囲です。日本からはメキシコ、パナマを含めたスペイン語圏7か国を中米と呼ぶことが多い。

ところが現地では前述の5か国を中米と呼び毎朝7MHzで行われている中米ネットではネットコントロールが「CQ Cadena Centro America, Mexico y Panama」(CQ 中米ネット、メキシコ&パナマ)とコールする。メキシコとパナマは彼らでは「中米」の外なのである。

中米は緯度的には北緯5度から20度あたりに位置して亜熱帯気候で海岸あたりでは日中の気温は30℃以上ですが首都等の主要都市は標高が高いところにあり、これらの都市に滞在するには住みやすい所です。グアテマラは「常春の国」と自ら命名していて、私が住んでいたアパートの室内ではいつも温度計が20℃を示していて気温の上下もなくヒーターもクーラーも必要なかったほどです。



首都サンサルバドル市内



市場の果物屋の店先



ランチは牛肉、野菜＋トルティージャ

この計画のスタートは2014年3月に中村さんが一時帰国されたときに無線のライセンスや現地HAM事情等の詳細を聞いたことからスタートした。ターゲットはコンディションも秋のコンディションに向って上昇してくる時期であり、夏休みとして休みが堂々と取れるギリギリの時期である9月を目標とした。

アマチュア無線ライセンスの取得は中村さんをお願いすることとして必要書類を用意して現地のアマチュア無線連盟(略称CRAS: エルサルバドルアマチュア無線クラブ)で手続きを行った。必要な書類は次のものであった。ライセンスの準備は約2か月前の7月から開始した。

- ① USAライセンスのコピー(AB0FU)
- ② JAライセンスの英文証明(JA2SWHの英文証明)
- ③ パスポートのコピー

9月13日いよいよ出発の日がやってきた。その時点で既にUSAのライセンスをベースにしたエルサルバドルのライセンスはYS1/AB0FUに決まった。無線設備は現地の中村さんの物をお借りすることとしたのでスーツケースの中はお土産と運用のためのパソコン、パドル等の小物のみとなった。

中米のどの国に赴くのも直行便はないためロスアンゼルス乗換のフライトを選択した。最初の訪問国エルサルバドルには早朝5時過ぎに到着。空港のゲートを出ると早朝にも関わらず中村さんのお迎えがあり恐縮しながら首都サンサルバドルの街に向かった。

過去の滞在時の経験からすると早朝はローバンドで日本向けのパスが開け、夕方からはハイバンドでパスがあるはず。シャックに到着した時間には既に日本がオープンする時間は終わっており、15時頃に21, 28MHzで日本が開けるまでは市内観光と買い物や現地での携帯電話の手続きをすることとした。

特に携帯電話は日本の携帯のローミングでは料金が高いため予め携帯を「SIM Free」に設定しておき現地の携帯電話会社でSIM Cardを購入して現地用のプリペイド携帯に変身させて使った。

これが安くて通話やデータ通信がスムーズに行えるBest Wayと思っています。

ちなみにSIM Cardは200円程度です。

このように観光等をしているうちに日本がオープンする時間が近づいてきたので運用用のパソコンとパドルを荷物から取り出して運用の準備にかかった。Windows8上でHamlogを立ち上げCWの運用準備をした。運用開始は日本時間15日の朝(9/14 22:00Z)から21MHzで開始。今回の最初のQSOはJANETクラブでお世話になっているニューヨーク在住のN2JA塚本さんでした。特にスケジュールを組んでいたわけではないがFacebookで動きを読んでいたのかCQに早速応答してもらいました。



YS1/NP3J中村さんのシャック

28MHz HB9CV、HF Vertical

YS1/AB0FUを運用中

中村さんのシャックではTS-590 100Wにアンテナは4階建の屋上に設置した28MHz HB9CV、3.5~24MHzはAH-4と釣竿を使ったVertical ANTで運用を行った。5日間行った運用のうち9/18 22Zからの28MHzはコンディションが非常によくSSBでもJAがガンガン入感していた。通常は100W程度では弱いために必ずスプリット運用を行うのですが、この日は100Wでもパイルアップに対応できる程だった。こうして15時頃から19時頃までJA中心のQSOを楽しみその後夕食となる。夕食後は14MHzでJAが開けているので2時間程QSO。ぐっすり眠り4時頃に起床すると10MHz、7MHzでJAとパスがあるので朝食まで3~4時間のQSOを楽しむ。そして昼間は無線はお休みで観光に行く。これが滞在中の生活パターンだった。

今回のエルサルバドルでの運用のうち2回はエルサルバドルアマチュア無線クラブ(CRAS)のクラブシャックからの運用となった。シャック訪問が午後からでありHFハイバンドが日本に対して開ける時間であるので14~28MHzのトライバンド3エレYagiに500Wでオンエアさせてもらった。ちょうど秋のコンディションが始まる時期であり飛びはFBでした。SSBで多くの局からコールしていただきました。中米からの運用ではUSAの壁がありUSAの局よりSが強い局しかピックアップできない。ローバンドの運用では早朝にJAとのパスがあるのでUSAが目覚める前の3時か4時頃からQSOを始めると壁を感じずQSOできる。しかし、どのバンドもコンディションのピークではUSAとJAが重なったののパイルアップとなってしまう。短期間の運用でもあるので止む無くJAの指定をしての運用を行いました。ClusterにはUSAの局から「NW JA ONLY」と書き込まれ申し訳ないと思ってそれを見ながらJAとQSOしていた。



YS1YSのクラブシャックでの運用

YS1YSのアンテナ群

YS1GMV, 私, YS1/NP3J, YS1MAE

今回のCRAS訪問後に現地のハムから夕食会へのご招待があった。現地でアクティブなYS1GMV(マリオ)、YS1MAE(マリオ)と奥さま、YS1/NP3J(中村さん)とレストランでの会食だった。初対面の2人のマリオだったが同じ趣味を持つ者同士で無線の話に花が咲いた。この間スペイン語でのやりとりだったが25年前にグアテマラ人に囲まれて終日日本語の聞こえない環境に入れられ体で覚えたスペイン語はまだ何とか使えてホッとひと安心。実は出発前はスペイン語をどれだけ覚えているか不安でいっぱいだったが頭の奥の方の引き出しにはまだスペイン語が入っていた。

今回の旅行中に船橋市アマチュア無線クラブの皆さんからもコールしていただきありがとうございました。

結果は2局とQSOできました。QSOしていただいた方々には下記のQSLをお送りしています。最後にこの運用を現地でサポートしていただいたJA6WFM/NP3J中村さんに深謝します。



YS1/ABOFUのQSL(南国の果物)



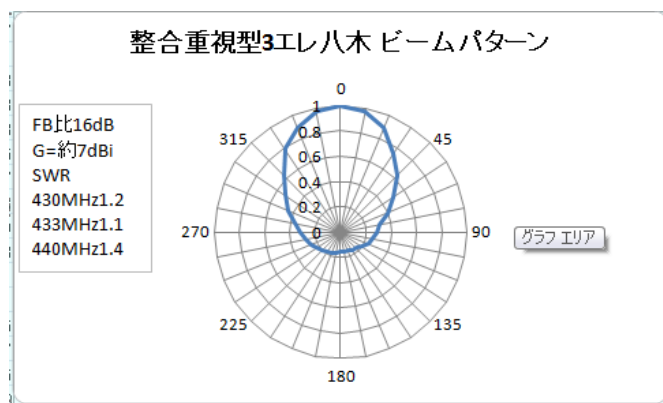
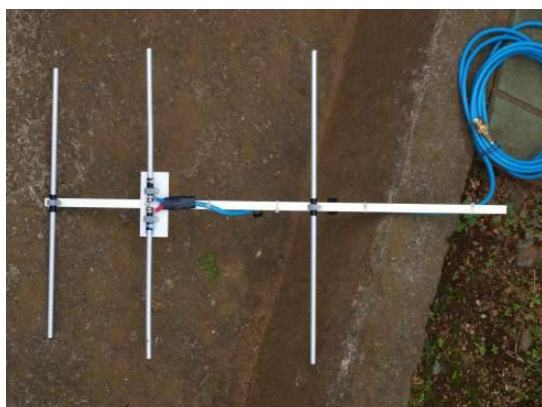
エルサルバドルの国旗



YS1/ABOFUのQSL(Santa Anaの教会)

技術講習会の御案内

2015年1月25日(日)15時より 飯山満公民館にて3エレ八木を作ります。費用は1300円です。
必要な工具は、+ドライバ ラジオペンチ ニッパー 金ノコ (必須)



以下は、有る方だけお持ちください

無理に揃える必要はありません

電気ドリル ドリルの刃 (M2.6 M2.0 のネジ穴あけ) パイプカッター (6mm 直径)

怪我が怖い方は軍手をご用意ください

製作するのは、整合重視型 (W1JR タイプ) の430MHz 帯用3エレ八木

エレメント配置を工夫し、50Ωでの給電を可能にしています。

このため、多少FB比は通常の八木より劣りますが、作りやすく、広帯域になります。

また、整合装置のロスが無いため、実用利得は通常の八木と変わりません。

(上図でサイドが切れていないのは、垂直偏波で測定した為です)

写真は試作品です。これは強度的にも、工作上も問題があるので、現在改良をしています。

参加したい方は、土曜日のオンエアミーティング、もしくはメールで参加の意思をお伝えください。

欠席の場合の連絡は要りません。申し込みは12月27日まで。

アドレスは jjonegrk あつとまーく yahoo. co. jp (あつとまーくを@に直してお送りください) です。

なお、本件は受付番号の返信をもって受付完了とします。費用は1300円。当日徴収します。

申し込み後のキャンセルでも同じ金額の費用が掛りますので、申し込みは慎重にお願いします。

なお、この申し込みは他のアドレスには送信しないようにお願いします。

技術指導担当 JJ1GRK 高木

平成27年度 防災フェア参加要請

「平成27年度防災フェア」は次の日程で行われますのでよろしくお願いします。

これは連絡会の公式行事です。会員各位はご都合をあわせて、是非ともご参加をお願いします。

1. 日時 平成27年1月31日(土)9時30分から13時00分
2. 場所 船橋市民文化ホール、中央公民館前広場及び駐車場
3. 実施内容 防災講演会、展示・実演・相談コーナー

防災フェアの詳細が分かり次第ホームページ及びオンエアミーティングで告知しますので、参加できる局は日程の確保をお願いします。例年の通り、屋上にANTを設置。1階玄関前で公開運用、連絡会の広報活動を行う予定です。

行事担当 JH1MQC/高城

事務局からのお知らせ

■免許状の更新について

更新済みですが、写しが未提出の方

・JN1MSM 成島 様 ・JA1VFL 酒井 様

半年以内に有効期限が切れる局

・7N3SHX 宇佐見 様 ・7K1EYD 香川 様 ・JA1OQX 阿部 様

免許の確認ができない局(総務省のホームページで免許の確認が出来ない方)

・7M4NBV 渡辺 様

○免許の更新について忘れずに手続きをお願いいたします。

また、局免許を更新された際は、新免許状の写しを事務局宛てに必ず送付してください。

写しをもって更新の確認といたします。(平成26年11月20日現在)

■新入会員のお知らせ

JA1AIU 小室 義夫 様 飯山満在住

事務局担当:危機管理課 武井

編集後記

430MHz用のアンテナですが、数年前に製作していたヘンテナを取り出してベランダに上げました。

オンエア、ミーティングで使っていますが意外とよく使えますし、軽いので簡単に設置できるのがメリットです。

本来の目的は、防災訓練用として使っていたのですが、今は、モバイルホイップを使っているので不要となり倉庫に保管していたものです。

ついでに、1200MHz用のヘンテナ(同様に保管していた自作品です)も取り出してパイプに取り付け、実験用のアンテナとして作りこみましたが(右写真)、1200MHzは局数が少ないので運用機会が少なく出番がありません。とりあえず自作したということで自己満足しています。



発行 船橋市アマチュア無線非常通信連絡会 船橋市アマチュア無線クラブ 担当 JS1IWA